

進路指導部より

令和6年度における通信制高校の生徒数は高等学校生徒数全体の9.1%、高校生の11人に1人が通信制に在籍しています¹。そのため企業や大学、短大、専門学校などの分野でも「通信制高校」の認知が進んでおり、合格・採用実績も向上しています。翔洋学園には多様な生徒が在籍しており、卒業後の進路も多岐にわたっています。各校舎では経験豊富な先生方がこれまでの事例を生かしながら、進路指導にあたっています。ともに将来について考え、自分らしい進路選択をしましょう。

進路指導部では生徒・保護者の皆さんに卒業後の進路について関心を持ってもらい、自己実現の一助となるよう「進路だより」を通して進路情報を発信していきます。

進路決定への道のり

①高校卒業後の進路について考えよう！



「進路を考える」と言われても…どうやって決めればよいのだろう？

特にやりたいこともないし…。

自分に何が合っているかわからない…。



通信制って進路決定に不利にならないのかな…。



進路決定のポイント

- ・健康管理と生活リズムの確立…すべての基本です。自分の体調を把握し、登校しない日も規則正しい生活を心がけましょう。進路決定時だけでなく、その後の継続に必須の力です。
- ・高校卒業の達成…まずは高校卒業が進路選択の必須条件です。添削課題の提出・面接指導への出席・試験の受験は単位修得に必要な教育活動であることを意識して、しっかり取り組みましょう。
- ・進路希望の明確化…1~2年生のうちから卒業後の進路に关心を持ち、情報収集（セミナー・講演会・HP・パンフレット・オープンキャンパス）をして、自分に合った進路を考えましょう。
- ・自立や社会参加の練習…地域のボランティアなどの協働的活動への参加やアルバイト経験で社会性や公共性、コミュニケーション力を高めましょう。部活動や係活動の経験がない人はぜひ参加を。
- ・家庭の事情や経済的問題…進路決定には保護者の理解と支援が必要です。家族と将来の希望について、日頃から話し合いましょう。特に、進学希望者は学費や生活費について保護者からの支援が必須です。日本学生支援機構の活用やその他奨学金の利用、国の教育ローンも調べておきましょう。
- ・決定を急がずマイペースも大事…さまざまな事情から卒業後、進学や就職を希望せず、アルバイトの継続や就労移行支援事業所の利用を希望する人もいます。短期間での退学や離職を避けるためには、さまざまな準備が整うまで待つことも、有効な選択肢のひとつです。

¹ 【（出典）文部科学省「学校基本調査」令和6年度速報値】

～まだやりたいことが見つからないあなたへ～

① 興味のある業界や仕事で考える

興味のある業界や仕事について関連することを深掘りし、色々と調べてみましょう。具体的にやりたい仕事が見つかったら、その仕事をするために特定の資格が必要なのか？進学が必要なのか？進学が必要な場合は何系の学校に行くべきなのか？などを調べていくとだんだん進路が絞れてくることでしょう。

② これから学んでみたいことで考える

「将来やりたい仕事なんて、今は決められない。だけど、高校を卒業した後にもう少し学びたい。」と思う人は、学びたいことが将来の仕事に役立つかは別にして、柔軟に考えてみることで、自分の興味・関心が明確になることがあるでしょう。

③ 将来どんな自分でありたいかを考える

「都会で働きたい」「土日が必ず休みの仕事で、休日は趣味を楽しみたい」など、漠然としたイメージでも自分の将来像を持つことで方向性が見えてくることでしょう。



2 高校卒業後の進路を見据えてさまざまな準備をしよう！

① 自己分析→自分の強みを見つけ、伸ばす

自分がどのようなことに興味があるって、何に向いているのか？『進路の手引』総合編の診断やインターネットを活用して自己分析を行い「自分のことをよく知る」ことが大切です。

また、自分の強みをさらに伸ばし、増やすためにアルバイトやボランティア活動などに挑戦したり、色々な人と交流を持ったりしましょう。また、検定試験や資格取得に挑戦するのもよいでしょう。

②-1 職業研究→業界研究→会社研究【就職】



②-2 職業研究→学問研究（学部学科研究）→学校研究→入試研究【進学】

「どんな業種や、職種があるのか」を知り、将来的な就職への可能性を「広げて」いきましょう！希望の仕事に就くために卒業資格や進学しないと取得できない資格が必要な場合はどのような系統の学校に進学すればよいのか、学費はどれくらいかかるのか、どのような入試方法があるのかなども調べていきましょう。

③ 学力を伸ばす

進学はもちろん、就職の場合も学力は大切です。労働条件の良い会社ほど入社試験に学力検査を課すことが多い傾向にあります。また、入社後も高校までに学習した基礎学力を活用する場面は多くなります。学校の学習にしっかり取り組みましょう。スタディサプリや塾の活用も有効です。

～「社会に求められる」能力を身につけるため高校生活の中で次のことを意識してみよう！～

- 欠席しない、時間を守る→面接指導やHRの日程を把握し、遅刻しない
- 約束を守る→添削課題の提出期限を意識して計画的に学習する習慣を身につけよう
- 言葉遣いに気をつける→敬語を使い、流行言葉は控える。話し言葉・書き言葉を区別する
- 人の話をきちんと聞く→コミュニケーションの第一歩です
- 笑顔で挨拶をする→第一印象を好印象に
- 正直（素直）である→成長する可能性を高めるための最重要項目です
- 皆で協力して物事を進める→グループワークや地域との協働に積極的に参加する



3 比較して考えよう！高校卒業後の進路!!



高校卒業後の進路について、賃金の面からも考えてみましょう。

【新規学卒者の学校種別初任給】※厚生労働省「令和6年賃金構造基本統計調査の概況」

	大学院卒	大学卒	高専・短大卒	専門学校卒	高校卒
初任給	287,400 円	248,300 円	223,900 円	222,800 円	197,500 円



【生涯賃金の違い】※労働政策研究・研修機構「ユースフル労働統計 2023」より

「生涯賃金」とは、生涯で得る賃金の総額のことです、学歴によって次のように異なります。

60歳までフルタイムの正社員で働き続けた場合（退職金を含む）

	男性	女性
◇高卒・・・・・・・	2億 5740万円	1億 8670万円
◇専門学校卒・・・・	2億 5520万円	2億 1570万円
◇高専・短大卒・・・・	2億 9230万円	2億 1560万円
◇大学卒・・・・・・・	3億 1680万円	2億 5030万円

企業の規模・職種・地域、
転職の経験などによって
個人差があります



4 進路関係のスケジュールと手続き

●卒業予定者の進路関係のスケジュールを簡単に紹介します。（令和8年3月卒業見込みの場合）

進学		就職（高卒就職情報 web 利用時）
5月～	○各校募集要項等発表開始	
6月～	○総合型選抜エントリー開始 *1	◎7月1日（火）高卒求人開示
7月1日（火）～	◎大学入学共通テスト マイページ作成	◎9月16日（火）採用試験解禁
8月下旬～	◎指定校制推薦一覧発表 *2	～採用試験日決定までの流れ～ 1 校舎のPC（またはハローワーク） で求人票を見る 2 職場見学（何社でも可） 3 受験したい事業所を決める 4 履歴書をつくり、調査書を申請する 5 受験日決定 ※事業所とのやり取りは学校が行います
9月16日（火）～10月3日（金）	◎大学入学共通テスト出願期間（オンライン） ・出願内容登録、検定料等の支払い	
11月～	○学校推薦型選抜試験開始 *2	
1月17日（土） 18日（日）	◎大学入学共通テスト	
1月下旬～	◎国公立大学個別学力検査出願開始	
1月～	○私立大学一般選抜試験開始	
2月下旬～	◎国公立大学個別学力検査開始	

○ → それぞれで、細かい日程が異なるもの ◎ → 学校内で締切があるものや日程が決まっているもの

*1 総合型選抜：エントリー後、面接などの試験を行う。推薦が必要なく成績などの基準もない場合が多い。

*2 学校推薦型選抜：「指定校推薦」と「公募推薦」の2種類があり、いずれも推薦基準をクリアすることが条件である。

進学希望者は知っておこう！各種奨学金

進学には多くのお金が必要です。家庭内で話し合い、計画的に準備を進めていきましょう。奨学金やアルバイトの収入で貯える部分もあると思います。夢を叶えるためにできることを考えてみましょう。

奨学金制度は日本学生支援機構の奨学金が代表的ですが、自治体や民間育英団体のほかに、進学先でも設けている場合があります。日本学生支援機構の奨学金は、高校で申請する「予約採用」と進学先で申請する「在学採用」があります。予約採用の今年度の最終締切は、8月4日（月）《予備回 10月27日（月）》日立本校書類必着（校舎への提出期限は所属校舎の教員に確認）です。その他の奨学金制度については、対象や募集時期・条件などを調べてみましょう。



「高卒求人票」から進路を考える！



高卒求人票に書かれている項目を理解することで、自分の将来像を考えることができます。

雇用形態・職種・仕事内容

記載内容	正社員、臨時社員、契約社員、嘱託社員、有期雇用派遣、無期雇用派遣、アルバイトなどの雇用形態
調べてみよう・考えてみよう	それぞれの特徴やメリット・デメリット、自分がどのような雇用形態で働きたいか、仕事内容、必要な資格や免許

福利厚生等・加入保険等

記載内容	雇用保険、労災保険、健康保険、厚生年金保険、財形、退職金共済などの加入状況、定年の年齢、再雇用制度の有無と対象年齢
調べてみよう・考えてみよう	福利厚生にはどのようなものがあるか、福利厚生が充実しているか、どのような福利厚生があると良いか

賃金形態・賃金・手当・賞与・昇給等

記載内容	月給、日給、時給、年俸などの賃金形態、住宅手当や資格手当などの各種手当の有無とその額、賞与の有無や前年度の実績、昇給の有無や過去の実績または割合
調べてみよう・考えてみよう	賃金形態の違いとメリット・デメリット、1年間で計算した所得額

就業時間・時間外・休日・有給休暇・週休二日制等

記載内容	就業時間や交代制の有無、時間外勤務の可能性やその時間数、休業日、年間休業日数、有給休假日数、週休二日制か否か
------	--

高卒求人票の見方のポイントは、「進路の手引」や高卒就職情報 WEB 提供サー

ビス（右の QR コードからもアクセス可）など参考にしてください。なお、高卒求人票は、校舎かハローワークでのみ見ることができます。

https://koukou.gakusei.hellowork.mhlw.go.jp/doc/kyuujinn_point_kousotsu202104

